

Linux 用 Adobe® AIR® 1.5

リリースノート

リリース日：2008 年 12 月 17 日

はじめに

Linux 用 AIR 1.5 リリースノートへようこそ。本ドキュメントには、AIR 1.5 ランタイム使用時の必要システム構成、インストール手順、既知の問題、その他の情報が含まれています。

- [必要システム構成](#)
- [サポートされている言語](#)
- [AIR 1.5 の機能](#)
- [Adobe AIR のインストール](#)
- [Adobe AIR のアンインストール](#)
- [AIR アプリケーションのインストール](#)
- [既知の問題と制限](#)
- [Adobe AIR SDK](#)

必要システム構成

プロセッサ	最新の x86 プロセッサ (800MHz またはそれ以上。32 ビット)
RAM	1GB 以上の RAM。128MB のグラフィックメモリ
サポートされている Linux ディストリビューション	Fedora 8 Ubuntu 7.10 openSUSE 10.3 上記が正式にサポートされているディストリビューションですが、AIR ランタイムと SDK は、rpm または Debian ベースのパッケージマネジメントシステムを使用する新しい Linux ディストリビューション上でも動作するはずですが。
サポートされているデスクトップ環境	GNOME KDE
パッケージマネジメントシステム	RPM Debian
GTK+ の最小バージョン	2.6
ウィンドウマネージャ	Metacity (GNOME のデフォルト) KWin (KDE のデフォルト)
透明度	AIR アプリケーションで透明度をサポートするには、コンポジティングウィンドウマネージャおよび追加の X サーバ拡張機能が必要です。以下がサポートされています。 コンポジティングウィンドウマネージャ：Beryl、Compiz、Compiz-fusion X サーバ拡張機能：Composite、Render、Shape

[上に戻る](#)

サポートされている言語

Adobe AIR 1.5 のインストールとランタイムのユーザエクスペリエンスでは、次の言語がサポートされています。

- 繁体中国語
- 簡体中国語
- チェコ語
- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポーランド語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語
- トルコ語

[上に戻る](#)

AIR 1.5 の機能

Linux 用 Adobe AIR 1.5 では、次の AIR 1.5 新機能を含め、Windows/Macintosh 用 AIR 1.5 で使用可能なすべての機能がサポートされています。

Flash Player 10 の機能

Adobe AIR 1.5 では、Flash Player 10 の次の新機能がサポートされています。

- カスタムフィルタとエフェクト
- 機能強化された描画 API
- 動的サウンド生成
- Vector データ型
- 拡張されたファイルのアップロードとダウンロード用 API
- Real Time Media Flow Protocol (RTMFP)
- 3D エフェクト
- 高度なテキストサポート
- カラーマネジメント
- テキストエンジン
- 動的ストリーミング
- Speex オーディオコーデック

これらの機能について詳しくは、<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/features/> を参照してください。

データベースの暗号化

AIR 1.5 では、データベースファイルを暗号化できます。メタデータを含むすべてのデータベースコンテンツは、データを暗号化した AIR アプリケーション以外では読み取れないように暗号化することができます。この機能により、開発者はデータベースファイルの暗号化、暗号化解除、および再暗号化を行うことができます。この暗号化では AES - CCM が使用されます。暗号化されたデータベースファイルを開いたり、添付したりできます。

WebKit

Adobe AIR で使用される WebKit のバージョンは更新され、SquirrelFish JavaScript インタープリタがサポートされています。

[上に戻る](#)

Adobe AIR のインストール

インストールを開始する前に、以前のバージョンのすべての AIR ランタイム（以下を参照）および AIR アプリケーションをアンインストールしてください。また、adobe-certs パッケージがシステムにインストールされている場合は、パッケージを削除してから最新のランタイムに

アップグレードしてください。Linux 用 AIR のベータ版がインストールされている場合は、ホームディレクトリにある .adobe、.macromedia および .appdata の各フォルダを削除してください。

AIR 1.5 ランタイムおよび AIR アプリケーションをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。管理者としてログインしていない場合は、インストーラを起動すると管理者パスワードを入力するようメッセージが表示されます（Debian 以外のシステムの場合はルートパスワード、Debian システムの場合は sudo ユーザパスワード）。

Linux 用 Adobe AIR は、<http://get.adobe.com/jp/air/> からダウンロードできます。

ランタイムのインストーラは AdobeAIRInstaller.bin というバイナリファイルで、このファイルをダブルクリックしてインストールを実行できます。

次の点に注意してください。

- bin ファイルの実行権を設定する必要があります（`chmod +x AdobeAIRInstaller.bin`）。
- ランタイムはネイティブパッケージとしてインストールされます。つまり、rpm ベースのディストリビューションでは rpm として、Debian ベースのディストリビューションでは deb としてインストールされます。現在、AIR ではその他のパッケージ形式をサポートしていないので、Slackware などのディストリビューションではインストールできない可能性があります。
- パッケージ名は adobeair1.0 および adobe-certs です。
- ランタイムは、`/opt/Adobe AIR/Versions/1.0` にインストールされます。

[上に戻る](#)

Adobe AIR のアンインストール

インストールされたランタイムは、次の手順でアンインストールすることができます。

- プログラム/アプリケーションメニューの「Uninstall AIR Runtime」メニュー項目を使用します。システムのパッケージマネージャを使用して、adobe-certs パッケージを削除してください。
- AIR は、MIME タイプ `application/vnd.adobe.air-application-installer-package+zip` を登録します。つまり、.air ファイルはこの MIME タイプのものであり、AIR が所有するファイルとして認識されます。

[上に戻る](#)

AIR アプリケーションのインストール

AIR アプリケーションは、バジインストール（Web ページ上の埋め込み SWF ファイルをクリックすると、必要に応じてランタイムも併せてシームレスにインストールされます）、または .air ファイルをダブルクリックしてインストールすることができます。

- インストーラを起動すると、インストールを完了するために必要な情報（インストール場所など）を入力するようユーザに促すメッセージが表示されます。
- AIR アプリケーションは、ネイティブパッケージ（rpm または deb）としてインストールされます。
- パッケージ名は、アプリケーション ID と発行者 ID の組み合わせで構成されます。

ヒントとテクニク

- コマンド「`/usr/bin/Adobe AIR Application Installer <air ファイルへのフルパス>`」を使用して AIR アプリケーションをインストールすることもできます。現在、相対パスでは動作しません。
- ランタイムをインストールした後に、.air ファイルをダブルクリックしてもアプリケーションインストーラが起動しない場合（一部の古いディストリビューションで起こる問題です）は、いったんログアウトし、再度ログインする必要があります。
- コンピュータをクリーンアップし、新たにインストールし直す場合は、ルートと現在のユーザのホームディレクトリにある .adobe フォルダおよび .macromedia フォルダの名前を任意の名前に変更してください。また、ホームディレクトリ内にある .appdata フォルダを削除してください。
- ランタイムのインストールのログを生成するには、ユーザのホームディレクトリに空の .airinstall.log ファイル（touch .airinstall.log）を作成します。何らかの問題についてユーザフォーラムに報告する際には、このファイルも提出してください。
- アプリケーションのインストールのログを生成するには、ユーザのホームディレクトリに空の .airappinstall.log ファイル（touch .airappinstall.log）を作成します。何らかの問題についてユーザフォーラムに報告する際には、このファイルも提出してください。

[上に戻る](#)

既知の問題と制限

ランタイムのインストーラ

- 一部の古いディストリビューションでは、ファイル名に「.bin」が含まれることにより問題が発生することがあります。その場合は、インストーラのファイル名から「.bin」を削除してから、インストーラを実行してください。
- rpm または deb 以外のパッケージ形式はサポートされていません。異なるパッケージ管理メカニズムを持つディストリビューションでは、インストールを実行できません。
- Ubuntu などの Debian ベースのシステムでは、インストール用に gnomesu/kdesu/kdesudo が必要です。ない場合は、xdg-su をインストールして、ルートユーザを有効にしてください。

アプリケーションのインストール

- AIR アプリケーション記述子内の programMenuFolder エントリは、一部の古いディストリビューションおよび KDE4 では使用できません。
- AIR アプリケーション記述子の <name> タグ内のテキストに空白があると、一部の古いディストリビューションでは System Applications メニューが作成されません。
- コマンドラインを使用して AIR アプリケーションをインストールする際は、AIR ファイルへの絶対パスを指定する必要があります。
- インストールの進捗状況バーは、完了の位置に達した後、自動的にリセットされます。
- 一部のアプリケーション XML タグでは一重引用符や二重引用符などの特殊文字がサポートされていないので、アプリケーションがインストールされない場合があります。
- バッジインストールまたはシームレスインストールを実行するには、Flash Player 10 が動作可能であることが必要です。
- 階層型のプログラムメニューフォルダが機能しません。
- 複数の AIR インストーラが表示される場合があります（例えば、Ubuntu ではその他メニューにも追加されます）。

ファイル形式の登録

- 特定の KDE ディストリビューションでは、一部の不明な拡張子について、アプリケーションアイコンが表示されません（abc、def など）。
- 既に登録されている拡張子（txt、html など）は、セカンダリハンドラとして自動登録されません（コンテキストメニューの「プログラムから開く」に表示されません）。

ウィンドウおよびメニュー

- ウィンドウ操作（範囲の設定、最大化など）は同期していません。
- 使用するウィンドウマネージャに依存するため、ディストリビューション間で違いがある可能性があります。
- 透明度を使用するには、コンポジティングウィンドウマネージャ（Compiz、Beryl、最新の Metacity など）が必要です。
- 透明度は、VMWare などの仮想化ソフトウェアでは使用できません。
- 透明ウィンドウでは、マウスイベントの通過が許可されません。

ローカルコネクション

- AIR アプリケーションと SWF 間のローカルコネクションには、Flash Player 10 が必要です。

暗号化されたローカルストア

- SSH を使用してセッションを書き出した場合、または su を使用してセッションが別のユーザに変更された場合、ローカルストアのデータにアクセスすることができません。
- ELS は、ELS データベースが最初に作成されたデスクトップ環境に限定されます。KDE で作成した ELS ストアに GNOME でアクセスすることはできません。またその逆の場合も同様です。
- 暗号化されたローカルストアは、Keyring (GNOME) または KWallet (KDE) を使用します。ELS データへのアクセス時に、パスワードを要求される可能性があります。
- KWallet のパスワードダイアログでは、アプリケーション名は「匿名」として報告されます。

PDF

- AIR アプリケーションの PDF コンテンツを表示するには、Linux 用 Adobe Reader バージョン 8.1.1 以上がインストールされている必要があります。

[上に戻る](#)

AIR SDK のインストール

- SDK は tbz2 形式で提供されています。
- SDK をインストールするには、コマンド「tar -jxvf <path to AIR-SDK.tbz2>」を使用してください。>

ADT の既知の問題

- ADT は、通常多くの Linux ディストリビューションに付属する GNU Java では使用できません。ADT を使用するには、パスに Sun Java が含まれていることを確認してください。使用されている Java の種類を確認するには、ターミナルでコマンド「java -version」を使用してみてください。
- 必要となる Sun Java/JRE の最小バージョンは 1.4.2 です。
- このビルドは、Flex Builder では動作しません。AIR アプリケーションをパッケージ化するには、コマンドラインオプションを使用してください。

[上に戻る](#)

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All Rights Reserved. Adobe、Adobe ロゴ、AIR、ActionScript、Flash、および Flex は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

本コンピュータプログラムは国内の著作権および国際条約上の著作権によって保護されています。このプログラムの一部または全部を無許可で使用、複製、配布することは禁じられており、これらの規定に抵触した場合、重大な民事および刑事上の責任を負うとともに法律に定められた最大範囲で追訴されることがあります。

サードパーティ製ソフトウェアに関する注意事項、使用条件、およびその記載先は、参考資料として http://www.adobe.com/go/thirdparty_jp/ にてご覧いただけます。